

各位

遠州鉄道 浜北駅 バリアフリーホーム 供用開始記念式典の実施について

遠州鉄道株式会社(本社:浜松市中区旭町、社長:齊藤薫)は、浜北駅のバリアフリー化工事を今年度末の完了に向けて実施中ではありますが、2月11日(日)に新ホーム部分の完成と供用開始を記念し、記念式典を開催いたします。

高齢者や障害者等の社会参加が進む中、バリアフリー化は社会的な使命となっており、浜北駅の鉄道利用客数も伸び続けております。

当事業には、浜松市および国のご支援をいただいております。引き続き遠州鉄道は浜松市との相互協力のもと、安全輸送・地域活性化に貢献してまいります。

概要は下記の通りとなりますので、お取り計らいくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 記念式典の概要

(1)日時 2018年2月11日(日) 9:00~9:30

(2)場所 遠州鉄道 浜北駅ホーム

(3)出席者 浜松市 : 浜北区長 松永 直志 様
マスコットキャラクター『出世大家康くん』
東急建設株式会社(施工): 執行役員名古屋支店長 落合 好憲 様
遠州鉄道株式会社: 取締役社長 齊藤 薫
取締役運輸事業本部長 宮田 洋
遠州鉄道労働組合: 委員長 森嶋 忠久

2. 浜北駅バリアフリー化工事の概要

(1) 事業期間

2016年4月～2018年3月

※新ホーム供用開始は2018年2月11日(日)始発便より

(2) 事業費

約5.5億円(そのうち浜松市からの補助金1.7億円、国からの補助金1.7億円)

(3) 内容

- ① 駅舎とホーム間にスロープを装備することによる段差の解消
- ② 新ホームの造り替えによるホームの拡幅と車両との段差・隙間の軽減
- ③ 新ホーム上に転落防止の固定柵と車両接近表示機の設置

なお、バリアフリー化工事に先立ち、「なゆた浜北」への浜北区役所の移転(2016年10月)および、都田エリアへの工場移転等にもなうお客様の増加に対応するため、2016年6月から9月にかけて駅舎待合スペースの拡大やトイレの増設等を実施済みです。

工事前の旧ホームと階段部分



新ホームとスロープ部分



※2018年2月6日時点

3. 参考

(1) 浜北駅の乗降人員(1日あたり)

2014年度 3,188人 / 2015年度 3,363人 / 2016年度 3,385人

(2) 駅のバリアフリー化について

国の定める「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づく「移動等円滑化の促進に関する基本方針」では、1日あたり3,000人以上の利用がある鉄道駅は2020年度までにバリアフリー化整備を実施することとされています。

■お問い合わせ

遠州鉄道株式会社 運輸事業本部 鉄道営業所

TEL:053-435-0221

FAX:053-435-0223

担当: 黒田・山本

Mail:kuroda_met@entetsu.co.jp